

第2回動植物園施設整備計画策定に関する意見聴取委員会 議事録（要旨）

1. 日時

平成30年1月29日（月） 14:00～16:00

2. 場所

熊本市動植物園 動物資料館レクチャールーム

3. 出席委員

伊藤委員（委員長）、石黒委員（副委員長）、庄田委員、来住委員、原委員

4. 配布資料

動植物園マスタープラン（概要版）（案）

動植物園マスタープラン（素案）（案）

5. 次第

（1）開会

（2）熊本市動植物園長挨拶

（3）議事

・第1回意見聴取委員会における意見等について

・動植物園マスタープラン（案）の概要版・素案について

（4）総括

（5）閉会

6. 議事録

（3）議事

・第1回意見聴取委員会における意見等について

事務局	【事務局からの資料の説明】
委員長	まずテーマ1に関して、皆様のご意見をいただきたいと思 います。もし、事務局のほうに質問があればしていただけれ ばと思います。いかがでしょうか。 (意見なし)
委員長	今日は欠席の委員のほうからですが、ご意見をいただい

	<p>て、「阿蘇自然のところで、ゾウの飼料に阿蘇の野草を使っているのをそれをアピールしたらどうか。そして前回の議論の中であか牛の導入についてはどうか、という件も、草原に関する説明も準備していただくといいかなど。環境省という立場からも協力をしていきたい。種の保存については、野生生物課に相談してください。」というお話をいただいております。</p> <p>では、先ほどのご説明の中の「植物園と動物園の一体化」について、何か意見はありますか。大きく変わったのは植物のほうへ動物を導入するということですね。</p> <p>(意見なし)</p>
委員長	<p>私のほうから全体的な話をさせていただきます。生息域を感じる展示と動物の福祉に配慮した展示、これを両方できている動物園はあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>具体的に言うと、よこはま動物園ズーラシア。ここはかなり植栽が豊富です。なぜそれが動物園にとっていいかという、動物はみられてばかりだとストレスを感じる、その動物が隠れたりゆっくり休息ができる場所まで考えて、植栽をいれてあげたり。また、旭山動物園は植栽を沢山入れるという考え方よりは、動物の本来の動きをだすために人工物であってもそういう動きができるようなものを積極的にとりいれています。</p>
委員長	<p>そういった成功例をまねしてやっていくということですか。</p>
事務局	<p>いいところはとりいれて、またうちの独自のものを、話題性を呼ぶものを考えていければいいと思っています。</p>
委員長	<p>ふるさとの自然エリアについて専門家からお話はありますか。</p>
副委員長	<p>この江津湖周辺で希少種が植物については相当あり、これを日本庭園にうまく植栽展示ができ、そこを観察できるような</p>

	<p>スペースをつくるようなことをすればいいと思う。それを確認した上で江津湖周辺を観察するといいと思います。</p> <p>また、大温室の中に亜熱帯のものをという話があったが、例えば、蝶あたりをそこに放して展示するという、多摩の昆虫園はやっているが、そうすると、蝶や展示するその他の小動物の食性を考えて、植栽しないといけない。そこも検討しないといけない。</p> <p>また、動植物園を一体化していくために、動物、植物担当の学芸員を入れていただきたい。動物については専門の獣医がいるけど、違った意味で普及活動するという意味で獣医さんと学芸員を連携してやっていくというのが大事だと思う。また、動物植物の連携において植物担当の学芸員もお願いして、検討していくと。これは人事との関わりがあるからどうなるかわかりませんが、試していてもいいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>ふるさとの自然については、生き物学習センターとのからみがあるのかなと考えていますが、そのあたりは植物専門とする方をどうするか何かプランがあれば説明していただきたい。</p>
動植物園長	<p>植物の専門という話ですが、園芸職が1名いるが3月退職予定で来年どうするか考えているところです。なかなか職員の園芸職、専門職がないので、臨時的な職員ということで雇用したいとは考えています。学芸員についても今、博物館が熊本市にもありますが、他の動物園をみると学芸員の園長もいるので、そこも検討していく必要があると思います。ただ、人事の話になるので、この場で結論を出すことはできませんので、念頭に置いた上で今後進めていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>そのあたり、お子さんがいる立場としてどういう方がいるといいですか。</p>
委員	<p>体験的なプログラムが今までとどうかわるのか、感じたので専門的な方が子供たちにわかりやすく説明していただけるといいなと感じました。</p>

<p>委員長</p>	<p>ここで理科が好きになったり、学校のモチベーションがあがったりするから、こういうところが一番大事なのかなと思います。</p> <p>続きまして、ふるさとの自然エリアで説明がありましたが、阿蘇の自然を再現するのはなかなか難しい。</p> <p>私自身は、動植物園で自然環境を再現する必要はないかなと思います。見に行きたければ、そこに行けばいいわけで。ただ入り口としていきたいなと思えるような動物がいたりすればいいと思う。いきいきとした野生の動物がいて、それを見に行きたいというモチベーションが高まればいいと思う。</p> <p>阿蘇に行きたくくなるような、阿蘇のことを理解できるような展示があったらいいのではと思う。</p> <p>あか牛のほうは、ふれあいのほうに導入するということですよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>現施設を十分に活用することを考えると、ふれあい広場には多くのお客さんも来られるので阿蘇の情報を発信していく上では、場所的には適していると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>牛を飼っている立場として気になるのは、糞尿の量と水気がすごいので、大丈夫かなという不安はある。</p>
<p>事務局</p>	<p>建物のほうは排水等きちんとできるように、今ポニーがいるのですが、そういったのを使うと大丈夫かと。ただ、ヤギや羊と同じように牛をだせるかという問題があり、外で展示するスペース、時間等はまた設備等を考えた上で、検討したいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>においもすごい、羊やヤギと違うレベル。実際に入れていいのか、他の動物園の飼い方をみて検討したほうがいいかもしれない。</p> <p>このあたりどうでしょうか。意見はありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>このままでいいかと思います。子供は、小学校高学年になり、あんまり行きたいというのは減ってきたが、小さいころはよ</p>

<p>委員長</p>	<p>く通っていました。 常時展示されているのは変わらないので、夜間開園で花火があがるとか、イベントがあると行くかと思います。学習面では、ただ動物をみて歩いていくより、看板等があると考えることができると思う。自然の中にいくと日々違うので、ふるさとの自然エリアは興味ができると思う。その点は、本当の自然の江津湖が近くにあるので、利用するといいと思う。</p> <p>私もふるさとの自然エリアを一番期待している。楽しみだなと思う。</p> <p>私が得意ではない植物のほうから、ふるさとの自然というよりも多様な四季の樹木のほうで多く提供するということが、そのあたり何かお話ありますか。</p>
<p>副委員長</p>	<p>樹木のところになると肥後さざんか肥後つばきですよね。あと肥後しゃくやくも盛んですが、ただ肥後あさがおと菊は特別で、肥後あさがおは難しく、菊は花壇を作らないといけない。阿蘇には作ってありましたが、花壇を作るには、県外でも珍しく専門家が作らないといけない。誰がやるかという問題がある。展示を博物館あたりでしていた。例えば、肥後あさがお展示会をここでやるということ是可以する。11月はさざんか、3月はつばき、最後菊という風に年間を通してスケジュールを作ってPRをしていくことはできる。</p>
<p>委員長</p>	<p>専門外のところでもいいので何かありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>ひとつ気になったのが、コレクションプランをすることですが、これは具体的にどういうものかお聞かせいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>動植物をどのような種類をコレクションしていくかは、各園で考えていくことではあるのですが、ひとつの動物園だけでどんなに頑張っても守れる種類というのは限られています。今、日本動物園水族館協会という国内の動物園、水族館が協力して、海外から動物を連れてきて展示するというのは、ワシントン条約以降できなくなっています。野生の動物たちを</p>

	<p>捕まえて展示するというのができないのであれば、今後どうしていくか。実は、動植物園の動物たちは2, 30年後にみることができなくなるだろうという種類がかなりの数あり、そういう風にならないようにするため、日本動物園水族館協会の国内の動物園、水族館が協力してこういった種類をきちんと繁殖を進めていきたいと思いますというJCPというJAZAという組織になりますが、JAZA コレクションプランというものを作っています。今頑張ってこの種類を守っておかないと将来見られなくなる種類、といったランクわけをしています。それにそって、うちの園でもこの動物種であれば繁殖に貢献ができるという、国内のプランがあって各園のプランがあるというのが現状ですので、そういったものを考慮しながら、こういった動物種を選んでいくかということを考えていく必要があると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>動物の種類に関しては、専門家の立場で考えてしまうが、動物園の動物はどのぐらい沢山いるべきか、何がいるべきかありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>単に集客のためだけではよくない。難しいが、偏らないようにしないといけない。見る側として絶対いるだろうと認識している動物はあると思う。その園の特徴に応じた種類を選定するのが大事だと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>ちなみに私の学校で、このマスタープランを題材に授業をやったのですが、学生の中ではコレクションの数を減らしてもいいから、自然のままに動く動物を飼育してほしい、その方が動物園として魅力があるというような発表が多かったです。数を増やすことだけが集客に結びつくわけではないと思うのですが、そのあたり皆さんはどう考えますか。</p>
<p>委員</p>	<p>今、テレビなどでいろんな国の動物をみられるので、実際に実物を見て感動できるのは動物園だけだと思う。ただ長い地球の生命の中でいろんな動物が淘汰されていく中の今がどういいう動物が生きやすい時なのか考えたことがなかったので、減って希少動物になる、どうして希少動物になるのかを考え</p>

	<p>るのであれば、そういうのを知っていったほうがいいのか、と。もし、展示する動物を減らしたほうが動物にとって住みやすいならそういう基準でもいいのでは。</p>
<p>委員長</p>	<p>説明次第ですよ。学生を発表を聞いて、僕も初めて減らしてもいいのではと思った。動物園としては、何百種類、何頭という数字が自慢げに書くとは思いますが、そこではないと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>テーマ3の③のあたりが優先であると見やすいかと思ったが、ここに書いてあるような配慮があると見やすくなると思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>新しい動物が来て混乱しそうなときは、こういった配慮があるといいと。</p>
<p>動植物園長</p>	<p>可能な限りそこは、もう取り組む必要があると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、ここでテーマ1は一度切らせていただいて、テーマ3をご説明いただいて、最後時間があれば議論したいと思います。では、テーマ3の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【事務局からの資料の説明】</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、テーマ3に関して何かご意見ありますでしょうか。 (意見なし)</p> <p>実は、これもうちの学生から出たのですが、モノレールと観覧車の中にスピーカーをつけて強制的に動物園のご案内を聞かせたらどうか、「もうすぐ赤ちゃんが生まれます、野生動物がどういう風になっている」とか。遊戯に乗って動物に詳しくなれるといいと思う。知ってもらいたいことを流すという風に。</p> <p>遊具に関しては、全体の話ででていましたが今後について新たな考えは出ているのでしょうか。</p>

<p>動植物園長</p>	<p>遊戯施設に関しては、地震で被害にあったスーパーバイキングが修復不能で撤去。もうひとつがディスク・オー、これは地震前から壊れており、2機種を撤去している状況。その他の遊具は、子供列車は修復中ですが、完了すれば復帰します。他は、全て稼動しています。2機種は撤去しており、スペースもありますので、今後例えば今あるのが子ども向けのもので、中学生や高校生に来ていただけるような遊戯施設を考えてはいます。手法としては、市が予算化するというだけでなく、民間活力を利用しながらいければと考えています。</p>
<p>委員長</p>	<p>話が戻ってしまいますが、今の体験型のプログラムの想定しているターゲットの主に未就学や小学校低学年、ということで、小学校高学年や中学校向けのもはや手薄というか、未就学や小学校低学年あるいは大人向けで、真ん中のところがあんまりそろっていないということはあるのでしょうか。また、学校との連携についてもほかの施設とかでは学校ごとにきてくださいと呼びかけているところもあると思いますが、中学生あたりがなかなか来てくれないということであれば、中学校と連携というのもありかと思いますが、どうお考えでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在の体験型プログラム、やはり親子連れをターゲットにしたような内容が多いです。例えば羊を飼った毛をつむいでみようとか、ゾウの糞ではがきを作ってみようというのも本当は環境学習という要素を含んではいますが、楽しみながら作っていくというのは、やはり一番参加者が多いのは小学生までが多くなっています。年代別、さらには中学生、高校生をターゲットにしたような体験も考えていかななくてはいけないという意見も職員の中で出ています。</p> <p>学校との連携は、小学校はクラス単位で来て色々話を聞くなど盛んに行われていますが、中学生、高校生となるとプログラムとして受け入れるという形ができていないので、そこは教育委員会等と連携も今後必要になってくるかと思っています。今後、中学生、高校生が自然について学べるプログラムを作っていく必要があると思います。</p>

委員長	<p>具体的には中学生、高校生対象にしたプログラムはどのようなのを想定されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず楽しいということから学ぶという要素も考えないといけない。国内で普段勉強しながら学べるものプラスここでは海外から来ている動物や植物も多いのでそれらを使って興味を引いてもらえるプログラムを作りたいと。 例えばテレビでいうなら、でんじろう先生のようなものなら中学生、高校生も興味を引いているみたいなので、ここでも動植物を使ってまた体験ができるようなプログラムを作りたいなと思っています。</p>
委員長	<p>ほかの動物園でやっているのは獣医さんの診療を紹介するとか、研究者が来て野生の生態についてとか、いろんな専門家を呼んで野生動物の研究の話をしているみたいですが、ここではそのようなことはしていますか。</p>
事務局	<p>現段階ではシンポジウムという形で専門家を呼んで一般市民向けにやってはいますが、手薄な状態ですので、専門家に外部から来ていただくということはいいことだと思いますし、こちらでもスタッフがそのような情報を発信できるように強化していく必要があると思います。</p>
委員長	<p>スタッフの皆さんが情報発信するための勉強の機会のようなものはありますか。</p>
事務局	<p>こちらのほうでも独自で勉強会を行ったり、積極的に研修会などに参加してもらうよう機会を与えてはいますが、なかなか限界がありますので職員のほうも知識向上のための取り組みも必要になるかと思っています。</p>
委員長	<p>そのあたりはこのプランには書かれていますか。</p>
事務局	<p>29ページ。「種の保存・調査研究の推進」というところで専門性を高く研究性を持って進めていけば、それだけ情報発信</p>

副委員長	<p>できる知識やそういった場も多くなっていくと思いますので、このイの部分のところに書いてありますが、こういった知識を持った職員が一般市民向けに色々な取り組みを進めていくということも必要かと思います。</p> <p>学校がオープンスクールをやりますよね。そこを受けたい生徒たちが学校に来ますが、第一高校の獣医学科希望の生徒が7人くらい来たことがあります。バックヤードをみせて、獣医さんたちの様子を見せて。そのようなものを毎年ある時期にして、獣医学科希望の学生さんたちにも研修会を、ほかのところではできないからですね。ここでそういうのを毎年やっていくというようなことをすれば、方向性や高校生の興味が向いてくるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>そこに関しましても31ページの学習プログラムの整備の上から6行目。「教材、技術、人材などの開発に努め、計画、実施、評価を重ね、動植物園教育の充実を図ります。併せて学校教育との連携を行い、年間カリキュラムに沿った学習プログラムの開発を支援します」と。年間カリキュラムは学校教育に沿ったもの。学習プログラムは教育委員会なども主体的に動いていただく必要があると思いますので、そういった中に入っていきながらそのようなツールを開発していき支援していきたいと考えます。</p>
委員長	<p>ひとまずここを終えて、次の歳出削減の話にうつります。</p>
事務局	<p>【事務局からの説明】</p>
委員	<p>歳出のほうですが、水道料金がだいたい改善されるということですが、これは設備を見直すということでしょうか。設備投資を行って新しいものを入れて、その結果として1000万削減が可能ということでしょうか。</p>
動植物園長	<p>そうですね。給配水管が被害にあいましたので、新しくするというのと地震の被害と関係ないですが、園内には池が3つあります。アタリアのプールもあり、水をかなり使ってお</p>

委員	<p>り、ろ過装置を設置して使いまわししていこうと、効率的な給水。いままで排出していた部分をまた使うというところでございます。</p> <p>あと最後ですけど、えさ代の削減について。動物に悪影響がなければ結構なことだとは思いますが、これはどうなのでしょう。</p>
事務局	<p>えさに対する考え方が以前に比べてだいぶ変わってきており、以前はサルにはバナナという考えなど、糖質を過剰に与えたり、もともとの生息域では食べなくてよさそうなものを行っているというのが今までのやり方だったのですが、それを全国的に見直そうという流れがあります。見直しをされている園も多くなっており、そこを参考にしてペレットという栄養価がきちんととれるものであればそれに変えていく。もしくは糖分が多いもの、もう少しカットしていいもの、もともと食べなくていいものは少しずつ減らし、もともとの食性に近づいていけることが大事だと思っています。最近ペレットの価格がかなり安くなっており、生野菜はかなり高騰しておりますので、そこを切り替えることで飼料をおさえることは可能かと思っています。そういったデータに基づいて段階的に減らしていっている状況です。</p>
委員長	<p>今のご説明のとおりですけど、むしろ野菜や果物って人のために作っていてかなり動物には栄養価が高すぎで逆によろしくない。このあたりは問題ないと思います。</p> <p>その他なにかありますか。</p>
委員長	<p>では、事務局のほうからマスタープランの説明をお願いします。</p>

・動植物園マスタープラン（案）の概要版・素案について

事務局	【事務局からの資料の説明】
委員長	私のほうからマスタープランの進捗管理の見直しについてですが、どのような組織とかどういった方々が評価をしているのでしょうか。
動植物園長	評価といいますか、まずは園内で進捗管理をする。これに関してこういったマスタープランみたいに外部委員の方をといるところまでは想定はしていませんが、まずは園内でのPDCAと、局内での検討を想定しています。
委員長	外部への公表はありますか。
動植物園長	内容によると思うが、大幅なものは計画の変更に伴ってまいるので、公表の必要があると思いますが、軽微なものについてはどうするか。ケースバイケースだと思います。
委員長	マスタープラン自体は公表されているので、変わる場合はどこかで公表しないといけないのでは。
動植物園長	動植物園自体が非常に注目されていますので、こまめに公表していく必要はあると思います。
委員長	一応予定されているのはここまでですので、全体的な話も含めて何かありましたらお願いします。
委員	全面開園の見通しがまだたっていないということですが、全面開園をするとなったときの正面ゲートというのはどういう扱いになるのでしょうか。
動植物園長	36ページに正面ゲートの写真がありますが、左側に売店がございますが、そのくいが損傷をうけて修繕不能ということで、屋根の部分が左右の建物の壁で支えている状況です。左側の売店が復旧できないということは、全体的にやりかえる必要があるということで、3年後をめどに建替える予定です。その間は、今の状況のままで埋め戻しをして3年間はこ

委員	<p>の状態を使わざるをえないかなというところです。その3年間の中でこういった施設としてゲートを作り上げるか構想を練った上で設計をして着工をするということで3年計画と考えています。売店が使えないということで代わりの仮設を検討しているところです。</p> <p>今やっているサポーター制度とは別に企業から協賛を得るといのは可能でしょうか。例えば、正面ゲートをリニューアルするときに、例えば子どもの商品を扱っている会社さんとかスペースを提供してその代わりお金をいただくということも考えられるとは思いますが。</p>
動植物園長	<p>そういう手法も今検討中です。売店もしくはカフェ、レストラン等の収益施設を作っていただく代わりにではないですが、正面ゲートまで一緒に作っていただくという手法がありますので、そういったところを今さぐっている状態です。熊本市の予算で作るのではなく、民間の資金を活用して運営までしていただくという検討も、遊戯施設も併せて考えています。</p>
委員長	<p>民間活力をつかうのはありだと思いますので、検討できればしていただきたいです。</p>
委員	<p>熊本市自体の復興を考えますと、全国展開している企業さんとかでも結構お金を出してくださるところがあると思います。一番目立つ正面ゲートのところに広報できるようなスペースを設ければ協賛してくれる企業さんもあるのではないのでしょうか。</p>
動植物園長	<p>昨年末からいくつかの企業さんに対して説明会を行ったり、個別サウンディングを実施しており、今後最終的に合意できるかは別として、今行っているところです。</p>
委員長	<p>全体的な話になりますが、マスタープランの内容は今後の動物園の方向としてテーマが4つあるので、できれば動植物園の中に入った瞬間にこの動物園はこのポリシーなのだという</p>

動植物園長	<p>来園者の皆さんに伝わるような工夫をできればいいと思います。看板とかで表示するなど。例えば、動物が幸せに生活しているというのが書かれていて、多少見にくいところがあっても、動物がすごしやすいように見にくくしていますというように納得してもらえらるような。</p>
委員	<p>正面入ってすぐにインフォメーションみたいなマスタープランの方向性を表現するというのはできると思います。</p>
委員	<p>それがあると、今後の方向性が決まってこの10年20年進んでいけるのでは。すばらしいプランなので。</p>
委員	<p>遊戯施設について、2つ撤去されていますが、遊具施設の導入について、マスタープランの概要が公表された段階で、ネット上での反応として、また遊具施設を導入するのか、という意見もでています。具体的に民間活力を使って検討していくと思いますが、これは撤去した2施設以上に増やすのかそれとも2施設のみなのでしょうか。</p>
動植物園長	<p>まだ具体的には決めてはいませんが、年代層を中学生や高校生に来ていただけるようなものを考えています。その中で導入手法としては民間活力を活用できないかと探っています。機種につきましては、今後参入できるという企業があれば、そことの協議になると思います。われわれとしては具体的な遊戯施設を考えてはいません。</p>
委員	<p>私も中学、高校時代に動物園に来ていないので、そういった人たちをターゲットとした場合、どういう施設がいいのか、これというのは思いつきませんが。</p>
動植物園長	<p>もともとは昭和44年に移転したのですが、動物園としてで、そのときは動物ゾーンと遊園地施設ゾーンでした。そのときには、ジェットコースターやゴーカードがありました。今となっては植物ゾーンも一体化していますので、動物園、遊戯施設、植物園、3つのゾーンが一体化した動植物園ですので、遊戯施設は必要だと私は思っています。</p>

副委員長	入園者は動物園側が多いのですか。
動植物園長	8割正門側です。
委員	以前、市電と植物園の入園料が一緒になったチケットがあったと思いますが、あれがなくなった理由は何でしょうか。
事務局	利用者数が少なかったので、交通局もやめたいということでしたので、やめました。
委員	公共交通機関を使っていただけるようなやり方が必要ではないかと思いました。
委員長	ちなみに公共交通機関を使っている人は何割くらいですか。
動植物園長	自家用車が7割以上。公共交通機関は1割程度。やはりお子さんがいると自家用車で来る方が多いようです。
委員長	検討事項はこれで終わりです。

(6) 総括

委員長

前回の委員の皆様のご指摘に対して真摯に対応していただけたと思います。このあともう一回、来年度にありますが、今回議論にでた方針に対して対応していただけたと思います。先ほど園長もおっしゃっていましたが、動植物園自体が非常に注目されていまして、さらに私たちも注目されているようで色々な体験をすることができるのではないかと思います。

次回ありますけど、そのときも動植物園の明るい未来につながっていきけるような議論ができればなと思っております。今日は、お越しいただいてありがとうございました。